

新潟広域都市圏ビジョン 連携事業中間自己評価（H29～R1） 結果報告

1. 中間自己評価の概要

＜趣旨＞次期ビジョン策定時の検討材料とするべく、連携事業の進捗状況（これまでの成果）を振り返り評価するとともに、連携事業の今後の方針の意向を確認する。

＜実施期間＞令和 2 年 4 月 27 日～令和 2 年 5 月 29 日

＜評価実施主体＞連携事業担当課（新潟市及び連携市町村）

＜評価段階（R1（H31）目標値に対する評価）＞

- ◎：非常に効果があった（目標を大きく上回る成果、目標以外でも成果があった）
- ：効果があった（おおむね目標通りの成果、目標は下回るが目標以外で成果があった）
- △：効果が低かった（目標を下回る成果、目標以外でも成果があまりなかった）
- ×：効果がなかった（目標を大きく下回る成果または事業未実施）

2. 中間自己評価の結果

※ 結果詳細は資料 1 - 3 に記載

◎評価：4 事業（8.3%） ○評価：39 事業（81.3%） △評価：4 事業（8.3%） ×評価：1 事業（2.1%）	} 合計	43 事業（89.6%）
--	------	---------------------

未達成事業 抜粋

評価	No.	事業名	未達成事由
△	2	新潟地域産業見本市開催	圏域内企業へ参加促進を図ったものの、商談件数は目標値に達しなかった。
	4	にいがた若手商人塾開催	事業開始当初から周知方法を変更しておらず、同じ媒体から情報をとる、同じ相手方にしか周知がされていなかったため、連携市町村からの参加者が増えなかったと思われる。
	14	新潟市北京事務所活用	北京事務所を通じた発信・プロモーションの効果を連携市町村へ十分に訴求できておらず、連携市町村からの依頼が少なかった。
	21	子育て支援センター相互利用	利用者に対する相互利用の周知不足のため、利用者数が伸びなかった。連携市町村とも、周知方法について情報共有ができていなかった。
×	3	首都圏等見本市共同出展	圏域内で共同出展を希望する企業がなく、目標値に達しなかった。出展する見本市が食に特化したものでもあり、出展希望企業とのマッチングがうまくいかなかったことも要因と考えられる。